

UN FILM DE
JEAN-JACQUES BEINEIX



37°2

LE MATIN

l'intégrale



ベティ・ブルー インテグラル 完全版

ジャン=ユグ・アングラード ベアトリス・ダル

ジェラルド・ダルモン コンスエロ・デ・ハビランド クレマンティーヌ・セラリエ ジャック・マトゥ ヴァンサン・ランドン

ジャン=ジャック・ベネックス製作・監督・脚本作品

原作▶フリップ・ティジャン(ハヤカワ文庫刊) 音楽▶ガブリエル・ヤレド(サントラCD:SLCレコード) 撮影▶ジャン・フランソワ・ロバン 美術▶カルロス・コンティ 編集▶モニック・プリム 共同製作▶クロティ・オサール
1986年/フランス映画/カラー/185分/ドルビー © 1986 CONSTELLATION PRODUCTION-CARGO FILMS 配給:GAGA 株式会社ガガ・コミュニケーションズ 後援:TIM TOKYO FM 一般映画制限付 (R)

UN FILM DE
JEAN-JACQUES BEINEIX

37°2

E M A T I N

L'Intégrale

この新しいバージョンは実に見事だ！
誰もがベアトリス・ダルに改めて惚れ直すだろう。(madame FIGARO 1991/7/13)

ノーカットで、さらに妖しく、かつ苦渋に満ちたものとなったこの映画は、
再見あるいは発見に価する。(LE POINT 1991/6/29)

いよいよ激しさを増したそのロマンティシズムは、
この映画を一種、今日の「風と共に去りぬ」とも言うべきものに姿容させた。
(LA REVUE DU CINEMA 1991/9)

「ベティ・ブルー インテグラル」は3時間の熱狂だ！(LE PARISIEN 1991/6/27)

「僕は今もベティの死の悲しみの中にいる」ジャン＝ユグ・アングラード
(TELERAMA 1991/6/26)

37°2度——それは男と女の愛の完全燃焼点

世界中でセンセーションを巻き起こした、フィリップ・ディジャンの小説「朝、37°2度」を映画化した『ベティ・ブルー』。モントリオール映画祭グランプリ、アカデミー外国語映画賞ノミネート、セザール賞8部門候補と、高い評価と大ヒットを記録した。37°2度とは、女が一番妊娠しやすい体温であり、主人公ベティとゾルグの、激しくも美しい愛のクライマックスを意味している。ゾルグには今やフランスを代表する男優の一人となった『ニキータ』『インド夜想曲』のジャン＝ユグ・アングラード。ベティには本作でB・B以来のセックス・シンボルと称されデビューを飾り、『女の復讐』『ナイト・オン・ザ・プラネット』等で演技派女優として活躍するベアトリス・ダル。この2人のメイキング・ラブのシーンは、あまりにも美しく、そしてまぶしすぎる。

6年の歳月を経て、今甦る^{完全版}インテグラル・バージョン！

大ヒットを記録し、高い評価を得た前作だが、監督ジャン＝ジャック・ベネックスは不満を抱いていた。なぜなら、やむなく編集されたヴァージョンは、破滅的な女をエキセントリックに描いた、まさしく「愛と激情の日々」と副題を付けられてもいたしかたない作品となっていたからだ。折りしも完全版ブームとなり、仏では初公開から5年目(日本では6年目！)にして、前作より1時間4分長い3時間5分の完全版が見られるようになった。本作では、より原作に近づいたのはもちろん、中盤以降のいくつかのエピソードが復元され、更にベネックス監督ならではの詩的なイメージが随所に散りばめられ、『ディーバ』で見る者を陶醉させた映像美学が復元された。前作を見た人には新しい発見の楽しみを、初めて見る人には強烈な感動を必ず約束してくれるのがこの「ベティ・ブルー インテグラル」である。

(1986年/フランス映画/カラー/185分/ドルビーステレオ)

3月31日(水)より独占ロードショー!
特別鑑賞券¥1,500 絶賛発売中! (当日大人¥1,800 学生¥1,600の処)
※劇場窓口のみポストカード付鑑賞券

PARCO 渋谷パルコバート3-8F 03-3477-5858
SPACE PART 3
平日 12:00 3:40 7:20 日・祝 11:30 3:10 6:50